



交通安全ニュース

(一社) 滋賀県トラック協会 安全環境委員会

平成29年8月
第 76 号

危険！熱中症

連日の猛暑の中、荷役作業、倉庫での仕分作業等で熱中症の発症が懸念されます。次の点に注意し、熱中症予防に心がけましょう。

【不健康状態を放置しない！】

- 監督者が普段から把握すべき事項
糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全など持病の管理
- 監督者が日々からドライバーより確認すべき事項
睡眠不足、体調不良、前日の飲酒、朝食の未摂取、風邪での発熱、胃腸炎等の下痢などの自己申告を促す。

【作業管理を徹底する！】

- 強制飲水させる。(のどの渇きはあてにならない。自由飲水はNG)
- 作業者同士による声かけを励行する。
- 冷房を備えた休憩室の整備(経口補水液、氷、冷たいおしぼり等)
- 意識がない場合や15分休憩しても回復しない場合は救急車を要請

【熱中症を疑う症状とは！】

めまい、失神、こむら返り、大量の発汗、体がぐったりする、力が入らない。

高齢者と子どもの交通事故防止

7月になって高齢者事故が多発傾向です。また、夏休みで子どもの事故の多発が懸念されます。

- ◎ 交差点での確実な安全確認、横断歩道での歩行者保護を徹底しましょう！
- ◎ スマホを見ながら、携帯電話をかけながらなど、「ながら運転」はたいへん危険です。絶対にやめましょう！
- ◎ 夜間は、前照灯ハイビームの切替えて、歩行者を早く発見しましょう！

外来生物を発見した場合の措置

ヒアリ等の外来生物を発見したときは、遅滞なく下記に連絡して下さい。

環境省自然環境局野生生物課外来生物対策課
電話 03-3581-3351(代表)